

海洋開発分科会 (第 9 期) における主な審議事項予定

平成 29 年 5 月 10 日

● 平成 29 年度 (4~5 回開催予定)

- ・ 平成 30 年度海洋関連概算要求施策に関する事前評価 (8 月)
- ・ 次期海洋基本計画に盛り込むべき海洋科学技術の重点的施策について
- ・ 海洋科学技術に係る研究開発計画のフォローアップ

① 海洋科学技術分野の主要施策に関する進捗状況の把握

- 現在実施中の施策と研究開発計画の対応関係の明確化及び進捗状況の把握
- 指標 (目標値) の具体化・明確化 など

② 重点的に推進すべき研究開発課題に係る検討

- 海洋空間のガバナンス強化と有効利用に資する革新的な観測・計測技術の検討・具体化

< 研究開発計画の該当箇所抜粋 (II 1. 1 及び 4. に掲載) >

⑤ 海洋空間のガバナンス強化と有効利用に資する革新的な観測・計測技術

海に囲まれている我が国において、海洋ガバナンスを図りつつ海洋空間を有効に活用するため、海洋空間における海洋生態系や海洋環境等の状況を適確に把握するための技術を確立していく必要がある。このため、既存プログラムで研究開発されたモニタリング技術やセンサ技術等の成果も積極的に活用しつつ、海洋生態系や海洋環境変動等の状況をより効率的かつ高精度に把握する革新的な観測・計測技術を検討し具体化する。

- 「Society 5.0」の実現に向けた海洋産業の高度化に資する研究開発の検討・具体化

< 研究開発計画の該当箇所抜粋 (II 4. に掲載) >

iv. 「Society 5.0」の実現に向けた経済社会・科学技術イノベーション

経済社会・科学技術イノベーションの活性化に向けて、海洋分野においても官民連携による「未来への投資」を拡大していくことが重要である。このため、産業界・関係省庁との連携を図りながら、地球環境情報基盤等も有効に活用しつつ、海洋環境、水産、海運、調査・計測等の海洋産業の高度化に資する研究開発について、検討し具体化を図る。

● 平成 30 年度

- ・ 平成 31 年度海洋関連概算要求施策に関する事前評価 (8 月)
- ・ 海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋鉱物資源広域探査システム開発に係る事後評価
- ・ 海洋科学技術に係る研究開発計画のフォローアップ

〈参考〉 平成 29 年度の開催スケジュール（案）

平成 29 年 5 月 10 日 第 52 回海洋開発分科会

- ・分科会長の選任及び分科会長代理の指名（非公開）
- ・海洋開発に関する動向
- ・海洋開発分科会（第 9 期）における主な審議予定

平成 29 年 6 月頃 第 53 回海洋開発分科会

- ・海洋科学技術に係る研究開発計画のフォローアップ
 - ① 海洋科学技術分野の主要施策に関する進捗状況の把握
 - ② 重点的に推進すべき研究開発課題に係る検討
- ・次期海洋基本計画に盛り込むべき海洋科学技術の重点施策の検討
- ・平成 29 年度海洋開発分科会における評価の実施について

平成 29 年 8 月頃 第 54 回海洋開発分科会

- ・平成 30 年度海洋関連概算要求施策に関する事前評価
- ・海洋科学技術に係る研究開発計画のフォローアップ
 - ① 海洋科学技術分野の主要施策に関する進捗状況の把握
 - ② 重点的に推進すべき研究開発課題に係る検討
- ・次期海洋基本計画に盛り込むべき海洋科学技術の重点施策の検討

平成 29 年 10 月頃 第 55 回海洋開発分科会

- ・海洋科学技術に係る研究開発計画のフォローアップ
 - ② 重点的に推進すべき研究開発課題に係る検討
- ・次期海洋基本計画に盛り込むべき海洋科学技術の重点施策の検討

平成 30 年 1 月頃 第 56 回海洋開発分科会

- ・文部科学省における主な海洋関連予算案（平成 30 年度）